

## 令和4年度 事業報告（概要）

コロナ禍にあって緊張感を持続しつつ、当法人の経営理念“ともに「支え」「歩み」「学び」「考え」「喜ぶ」”に立脚し、高齢、障がい、保育の各事業について利用者・入居者の確保に努め、法人内での連携を図りながら施設・事業所ごとの計画に基づき、より良いサービス提供を目指し、更に安定した運営に努めました。

### ◎新型コロナウイルス対策への対応

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響は続き、感染力が強いオミクロン株への置き換わり、第7波の発生等がありましたが、緊急事態宣言のような深刻な事態に至ることはなく、5年3月13日からはマスク着用は個人の判断が基本とされました。

しかしながら、重症化リスクが高い方が多く利用される施設・事業所であることを念頭に、これまでの感染予防・防止対策を緩めることなく、ワクチン接種や定期的なPCR検査、随時の抗原検査の実施と併せ、各施設・事業所の環境整備や備品・機器等の確保に、補助金や助成金も活用しながら努めました。また、運営面では、利用者・入居者の安全安心を第一に、ユニット単位の行事、予約制での対面や窓越し、オンライン面会を継続しますとともに、電子機器を可能な限り活用し、3密防止や業務の効率化を図りました。

### ◎持続可能な計画を立案・実践

社会福祉施設等に義務付けられている、大規模災害や感染症に対応した業務継続計画（BCP）の策定に向け、施設・事業所ごとにその特性を踏まえながら検討を進めました。特に、この間の新型コロナウイルス感染症への対応の中で実践してきた人・物・環境の取組を計画づくりに活かすよう留意しました。

### ◎LIFEの活用

科学的介護情報システム（LIFE（ライフ））については、令和3年5月から各種加算の算定のためデータ送信を行っています。令和4年5月から事業所単位のフィードバックが始まりましたが、項目によってはあり得ない数値になっており、PDCAサイクルを回すのは難しいのが現状です。しかしながら、PDCAサイクルへの活用が加算の算定要件であること、今後利用者単位でのフィードバックへと進むことを踏まえ、ケアの質の向上につなげるよう、分析・活用の手法について検討を続けます。

また、ICT化で導入したタブレットで画一的なシステム活用（ワイズマン）をしながら、現場での情報共有に努めました。

## ◎人材の確保と育成

定期的な求人对策と新卒者の積極的採用による人材確保に努め、47名を採用しました。定着率は1年以内は91%と初の9割超えとなりましたが、3年以内は55%、5年以内は38%と、引き続き工夫改善を図る必要があると考えています。

また、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を踏まえ行われた令和4年度介護報酬改定については、『取りこぼし』のないよう加算の取得に努め、職員の更なる処遇改善を図りました。

介護職員のキャリアアップについて、コロナ禍でも可能な内部・外部研修への参加を促すとともに、令和3年度に開始した実務者研修(喀痰吸引等研修含む)を継続し、無資格者の資格取得支援も行った結果、18名が介護福祉士国家試験に合格しました(合格率69%)。

また、新たなEPA介護福祉士候補者等を12名受け入れ、5年3月末現在で介護職員の3.5割が外国人となっています。言語や習慣、感性等の違いを前提に、計画的な育成体制や環境を確保し、資格取得や技能を身に付ける支援を継続して実施しました。なお、介護福祉士国家試験合格者18名中7名は、EPAでの受入れ者です。

## ◎地域社会の福祉ニーズに対応するサービスの充実を

地域公益事業としての社会貢献事業(大阪府社協「大阪しあわせネットワーク」)、就労支援・中間的就労事業に引き続き取り組みました。補導委託・一時保護事業については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、受入れはありませんでした。

## ◎待機児童の受入れ

待機児童の解消という命題に行政が推進してきた保育施設の大幅な増設をはじめ、少子化、さらにはコロナ禍での「預け控え」により、特に0歳児を中心に定員割れの傾向が各地で進んでいます。また、保育士の確保も非常に厳しいのが現状です。

そのような中、当園では、「見守る保育 藤森メソッド」を実践し、子ども中心の教育保育の質の向上に努めました。また、古市たいよう学院については、経営改善に向け、利用定員の縮小と1号(幼稚園枠)増枠の準備を進めました。

【事業収入 数値目標及び実績】

区 分	内 容	目標値	実 績	達成率
ケアハウス	入居稼働率(1日付)	100%	98.3%	98.3%
特別養護老人ホーム向日葵	利用稼働率	98%	96.9%	98.9%
特別養護老人ホーム八戸ノ里向日葵		97.5%	96.3%	98.8%
サテライト型特別養護老人ホーム向日葵		97%	94.2%	97.1%
グループホーム向日葵		98%	87.6%	89.4%
ショートステイ向日葵		98%	97.9%	99.9%
ショートステイ八戸ノ里向日葵		97.5%	83.5%	85.7%
ショートステイサテライト型向日葵		97%	84.2%	86.8%
デイサービス八戸ノ里向日葵		90%	87.9%	97.7%
デイサービス和光		80%	77%	90.6%
デイサービス向日葵		80%	82.6%	103.2%
介護支援センター和光		1人当たり担当件数	39.5件	30.5件
介護支援センター向日葵	39.5件		33.4件	84.6%
ホームヘルプサービス	前年比利用実績	103%	99%	96%
訪問看護ステーション	登録者数	70人	70人	100%
たいよう学院	利用定員	100%	99%	99%
古市たいよう学院		100%	82%	82%

<社会福祉充実計画の実施>

令和4年7月から令和7年3月までを期間とする社会福祉充実計画の1か年度目として、各計画事業を実施しました。計画事業費ベースでの達成率は78%となっています。

拠点	実施事業
向日葵	ナースコール等設備の更新、介護用ベッドの更新、非常用自家発電設備の整備
八戸ノ里向日葵	非常用自家発電設備の整備(特養、ケアハウス)、移乗サポートロボットの導入
本部	介護職員の新規採用及び処遇改善、サーバーの更新、給与明細や年末調整のペーパーレス化